

東西の表裏一と聖書的思考

目次

序	5
第1部 東西の思想	9
第1章 鈴木大拙におけるキリスト教理解	10
第1節 禅における悟り	10
第2節 キリスト信仰の禅との関わり（接点）	21
第3節 キリスト信仰の禅との関わり（超過的側面）	25
第4節 キリスト教理解における問題点	38
第2章 P. ティリッヒ『組織神学』におけるキリスト教的宗教哲学	54
第1節 キリスト教理解の方法	54
第2節 信仰の対象	71
第3節 神と人との関わり方	90
第3章 エックハルトにおける神秘主義—禅的思想と対比しつつ—	107
第1節 神と人との接触の前提	107
第2節 神と人との接触の様相	122
第3節 神と人との接触の結果	146
第2部 聖書的思考	167
第1章 霊という存在	168
第1節 悪霊、聖霊等霊的次元の存在	168
第2節 聖霊の働き	177

第2章 啓示の神への忠誠	195
第1節 思想的背景	195
第2節 歴史的状況	203
あとかき	210